

土木分野におけるNPO活動と 土木学会の役割

成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

「新しい公共」とそれを主に担うNPO法人は現在の社会において重要な役割を果たすキーコンセプトと存在である。これらが土木分野において現状でどのような位置づけにあり、今後如何に位置づけされるべきか、又、実際のNPO活動における問題や課題は何であり、それへの対応として如何なる対処策が考えられるか、更にそれらを踏まえて、諸課題を克服してNPO活動が活性化されるために、土木学会は如何なる役割を果たすべきか、特にNPO法人中間支援組織に対する学会の支援について、話題提供の後、意見交換する。

〈開催趣旨〉

1. 新しい公共

- 社会的課題の解決のための公共的サービスを民における多様な主体が担う。
- 土木分野でも重要な位置づけ。

2. NPO活動

- 新しい公共を実際に担う主要な主体
- 平成10年法制定以来4万弱。土木分野は活発化不十分。

3. 中間支援組織

- 個々のNPO及びその連携を支援し、社会的発信も。

4. 土木学会の役割

〈本日の進行〉

■ 話題提供 (@20分×3=60分)

- 高知工科大学；渡邊法美教授
「新しい公共とNPO活動、その土木分野における意味」
- NPO法人えひめグローバルネットワーク代表；竹内よし子代表
「地方からの国際化、地域での環境連携」
- 成熟シビル小委員会NPOWG；有岡正樹委員
「土木分野のNPO活動と学会支援の中間支援組織について」

■ 意見交換 (50分)

- 土木分野における新しい公共とNPO活動
- 土木学会の役割